

## アーミナ 米国出身・元キリスト教徒



私はヨーロッパ系のキリスト教徒の両親の元、カナダに生まれました。最初の数年間をカナダで過ごし、両親が宣教師となってからは、人々をキリスト教へと招くため、米国・欧州のあちこちを転々としてきました。その後、私たちはエルサレムへと引っ越しました。そこで私は人生についての多くのことを発見しました。それ以前はユダヤ教徒やムスリムについては何も知りませんでした。エルサレム旧市街を初めて訪れたとき、ムスリムたちを最初に見たことをはっきりと覚えています。

私は彼らの文化に魅了されました。私はすぐに旧市街にどんどん惹きこまれていき、そこで多くの友達をつくりました。私は一時期エルサレムのユダヤ人街にあり、その後アラブ人地域に移転したキリスト教学校に通いました。私はアラブ人たちと学校に通うようになりました。しばらくすると両親は、彼らと友達になることはおろか、会話すら禁じました。なぜなら、母によると彼らは悪魔に取り憑かれているからです。当時、私はとても若く、ティーンエイジャーになりたてでしたが、それでも母を信じたりはしませんでした。私は暖かい心を持つ彼らから、悪魔的な行動を見たことはありませんでした。私は多くの友を作り、彼らに会うために家を抜けだしたものでした。やがて母はそのことに気づき、私を打ちました。彼女は彼らを愛する私にも悪魔が宿ったのだと言いました。その後しばらくして、母は私を勘当し、私は路上生活者となってしまいました。

その後、私は全寮制学校に入り、学費のために仕事をするようになりました。そしてついに、私の家族はエルサレムを去り、カナダへ帰国してしまいました。私はただ一人、エルサレムに取り残されました。3年後、私は家族に会いにカナダへ行きましたが

、彼らは実の娘に対し、ろくにもてなしもしませんでした。私には悪魔が取り憑いている言われ、再び家から路上へと追い出されました。カナダには3ヶ月間滞在しましたが、そのときは虚無感で一杯でした。私はエルサレムへと戻り、旧市街で仕事を見つけ、そこに定住しました。私はアラブ人家族に雇われましたが、彼らは私の家族よりも私を助け、世話をしてくれました。

私は輝かしい「岩のドーム」に日々魅了されていきました。私はそこを訪れては、庭園に腰をおろし、礼拝への呼びかけに聴き入っていました。信仰心にあふれたムスリムたちが集うのを見ると、私の心にはあこがれのようなものが芽生えてきました。私は彼らの持つような安らかな心が欲しいと思いました。インティファーダや、彼らに対する拷問・殺戮が日常的であったにも関わらず、彼らは穏やかでした。彼の心には安らぎが根ざしていたのです。私はエルサレムの西岸やガザで多くの残酷な出来事を目にしてきました。

世界は平和を叫んでいました。しかし、それは常に「可哀想なユダヤ教徒たち」に向けてのものでした。

時には、母親や姉妹に対するレイプや、拷問から彼女らを守ろうとする子供たちの叫び声を聞くこともありました。彼らは私の知る限り、最も勇敢な心を持ち合わせた人々でした。幼い子供たちですら、銃を持つ兵士たちを角で待ちぶせ、石だけを武器に戦っていたのです。私もいつかは、彼らの一欠片の勇気でも持ち合わせることが出来たらと思っています。私はカナダに引っ越すと、そこでレバノン人のムスリムたちと出会いました。

彼らは、あたかも私の持つ全ての疑問に対する答えを持ち合わせていたかのようなのでした。そして彼らは答えることが出来ないときでも、イスラーム学者に問い合せた上で答えてくれました。彼らが「分からない」と発言することを怖れなかったことに、私は非常に感心しました。彼らは決して私に嘘を付いたり、欺こうとはしませんでした。彼らは質問することを恥ずかしいこととは感じなかったのです。実際、そのことが彼らの持つ誠実さ、宗教への愛着を私に証明したのです。私は多くの人から、イスラームでは女性が抑圧されているということを聞いていました。もちろん、そのことは私にとっての大きな懸念材料だったため、このことについて彼らに聞いてみたのです。

彼らは、女性は最も価値のある財宝のようかけがえのない存在だと言うのです。また、男性が女性よりも優れているのでも、女性が男性よりも優れているのでもなく、双方はただ相違点があるのだと言いました。それは気持ち、思考、感情などの違いです。彼らは、イスラームにおいては差別はなく、実際に差別はイスラームに反するものだと言いました。ムスリムは人を肌の色、出身地、身分や性別による差別をしません。他者よりも優れる唯一の場合とは、より良いムスリムであることだけなのです。私たちは自分の出身や両親を選ぶことが出来ないため、このことは理に叶っています。また、殺人者やレイプ犯が、罪のない善良な者と一緒くたにされることもありません。

私は彼らに、世界のあちこちで起きている争いや、いわゆるテロについて説明してくれるよう頼みました。世の中にはイスラームを実践する者たちとそうでない者たちがいること、そしてテロの原因は宗教ではなく、宗教に背く人々なのであるということが彼らの答えでした。私は人がムスリムと見なされる基準が分からなかったため、彼らはムスリムの信条を教えてくださいました。以下は、最初の預言者であるアダム（彼に平安あれ）以来、すべてのムスリムに説かれている教えです。

1. 神は唯一であること。
2. 神は何者にも似通わないこと。
3. 神は時空を超越して存在していること。
4. 神に始まりはないこと。
5. 神に終わりはないこと。
6. 神には聴力の性質があること。
7. 神には視力の性質があること。
8. 神にはカラム（言葉）の性質があること。
9. 神には意思の性質があること。
10. 神には力の性質があること。
11. 神には知識の性質があること。
12. 神には生命の性質があること。

### 1 3. 神は誰も／何も必要としないこと。

イスラームの信条を見てみると、非常に論理的で明白であることが分かります。神は唯一であると信じることは筋の通ったことなのです。例えば、もし二人の神が存在し、一方が誰かの死を望み、他方が生を望むなら、同時に生死が与えられることは不可能であるため、どちらか一方の神が弱い存在ということになります。弱い存在は崇拝に値しません。

では、完璧さの概念について説明させてください。なぜなら、これを聞いたとき、全てのことに つじつまが合ったからです。完璧さとは、変化をせず、欠陥や脆弱性から無縁のものです。なぜなら変化をするということはより良くなるか、より悪くなるかのどちらかだからです。変化をしつつも、同じ状態を保つものはありません。そして何かがより悪くなると、それは完璧ではなくなります。神は完璧であり、神は変化をしません。弱いものは何であれ、崇拝に値しません。神が時空を超越して存在しているということは、神以外のあらゆるものは創造物であるということです。すべての創造物には始まりがあり、終わりがあります。

それゆえ、全創造物は、始まりと終わりを与えてくれる唯一の存在を必要とします。一部の人々は、創造物の範囲について思いを巡らせません。場所、時間、光、想像、思考を始め、全人類と動物はその他の多くのもの同様に創造物なのです。例えば、場所は創造物です。それは他の創造物同様に、次元または区域を有しています。それゆえ、私たちは神が時空を創造する以前から、時空を超越して存在しているとするのです。なぜなら神は変わることがないからであり、神は時空を創造した後も、時空を超えて存在しているのです。これは極めて論理的なことなのです。これが正しい、論理的な神への信条なのです。そしてこれは、地球上のすべてのムスリムの信条でもあるのです。

#### イスラームが実践

されているのを見るのは、美しい光景です。ここで、イスラームに関する疑問を持つ人達の質問に答えることが出来たのであれば幸いです。また、何か他に質問がある方は、ぜひ私にメール [inkhadora@direct.ca](mailto:inkhadora@direct.ca)) を送ってください。神があなたに正しき道を示されるよう、そしてそこに留まらせるよう祈ります。

もしあなたがムスリムのなりたいたいのであれば、それは非常にシンプルです。次の言葉を信じて、口にするだけです。「ラー・イラーハ・イッラッラー、ムハンマドゥラスールッラー」“私は唯一なる神（アッラー）以外に神は存在せず、ムハンマドが神の使徒であることを証言します”これを、自分自身に聞こえる程度に唱えます。あなたはムスリムになるた

めにモスクに行ったり、誰か特定の人に会ったりする必要はありませんが、ムスリムになった後は、イスラームのことをより良く知るためにモスクに足を運んでください。この地球上のどこであれ、彼らはあなたを快く歓迎するでしょう。そして可能な限りの手助けを惜しまないはずです。